

各位

上場会社名 株式会社 オーシャンシステム  
 代表者 代表取締役社長 樋口 毅  
 (コード番号 3096)  
 問合せ先責任者 取締役管理本部長 古川原 英彦  
 (TEL 0256-33-3987)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成20年5月12日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成21年3月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	18,395	590	580	124	11.48
今回発表予想(B)	17,627	379	404	127	11.72
増減額(B-A)	△768	△211	△176	3	——
増減率(%)	△4.2	△35.8	△30.3	2.4	——
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年3月期第2四半期)	17,374	457	470	279	30.90

平成21年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	38,390	1,419	1,400	685	63.24
今回発表予想(B)	36,000	1,150	1,050	570	52.62
増減額(B-A)	△2,390	△269	△350	△115	——
増減率(%)	△6.2	△19.0	△25.0	△16.8	——
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	34,806	1,200	1,180	644	70.76

平成21年3月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	18,195	568	562	115	10.67
今回発表予想(B)	17,434	377	406	93	8.59
増減額(B-A)	△761	△191	△156	△22	——
増減率(%)	△4.2	△33.6	△27.8	△19.1	——
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年3月期第2四半期)	17,178	434	451	244	27.02

平成21年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	37,965	1,364	1,353	657	60.72
今回発表予想(B)	35,580	1,140	1,180	530	48.93
増減額(B-A)	△2,385	△224	△173	△127	——
増減率(%)	△6.3	△16.4	△12.8	△19.3	——
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	34,407	1,140	1,129	600	65.99

## 修正の理由

## 1. 第2四半期累計期間

当第2四半期累計期間における連結売上高は、弁当給食事業、宅配事業および旅館事業については、概ね予想通りに推移いたしました。小売事業において、競合店との価格競争の激化、ガソリン価格高騰に伴う商圏外からの来店客数の減少および物価高等を背景とした消費意欲の減退等の影響により、前回予想を下回る見込みです。営業利益、経常利益についても、売上減少による減益に加え、原油価格高騰に起因する光熱費、配送経費等のコスト増加が影響し、前回予想を下回る見込みです。なお、四半期純利益については、子会社において生命保険解約益を62百万円計上したことなどにより、前回予想を若干上回る見込みです。

## 2. 通期

第2四半期累計期間の業績を踏まえ、また、先行きに厳しさが増している景気状況および異物混入等の食品関連事件が多発している社会情勢等を勘案すれば、下半期の経営環境は依然として厳しさが続くものと認識しております。

特に、小売事業における年末年始の売上高の動向につきましては、景気動向等に大きく左右されることから、通期連結売上高は、前回予想より6.2ポイント下回るものと見込んでおります。

なお、利益面については、原油価格の動向に一部沈静化の動きが見られることなども考慮しておりますが、営業利益は19.0ポイント、経常利益は25.0ポイント、当期純利益は16.8ポイント、それぞれ前回予想を下回る見込みです。

※上記の予想は、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

以 上